

9月定例会

定例会の主な(総括)質疑内容

令和6年第3回定例会が9月5日から20日までの16日間の会期で行われた。

初日(5日)は、令和5年度決算認定11議案について決算特別委員会を設置し、その審査を付託した。また、条例の一部改正、令和6年度一般会計及び特別会計補正予算等5議案については提案理由の説明を受け常任委員会及び予算特別委員会に付託した。他に教育委員会教育長の任命及び教育委員会委員1名の任命に同意した。

2日目(19日)は、7議員が一般質問を行った。最終日(20日)は、令和5年度決算認定等について委員長から審査報告を受け、すべて原案のとおり認定した。そのほか、初日に上程された条例の一部改正や令和6年度一般会計及び特別会計の補正予算等5議案についてもすべて原案のとおり可決した。

●令和5年度養老町一般会計歳入歳出決算認定(総括)

令和5年度の施政方針で掲げた、「企業誘致」・「子育て支援の充実」・「健全財政の維持」・「SDGsの推進」を通しての地方創生の「まちづくり」の4つの政策目標の評価は。

町としてのどのような形がいいの内部で議論しており、その結果を踏まえて考えていきたい。

アフターコロナを見据えた様々な地域づくり、ワクチン接種事業、子育て世代物価高騰に対する事業などを進めてきた。目標に掲げていた施策を数値化すると50%くらいと考えている。

行政評価について、公募委員を含めた外部評価を実施する考えは。

災害対応時の具体的な業務の流れを、日ごろからコミュニケーションする習慣を身に付けていただきたいが見解は。

即座に対応できるように通常業務からコミュニケーションを重ねていきたい。また、排水機を直江地区に設置するなど対策を講じてきたが、線状降水帯や集中豪雨など想定以上の災害が起こりうることを踏まえ、流域全体の近隣市町と連携し、国へ強く要望しながら進めていきたい。

持続可能な自治体運営を行っていることに対する所見は。

現在、本町の財政指数等は数字的には問題はないが、不納欠損や収入未済額などは本来あるべきものではないと考えており、税の公平公正の観点から職員が一丸となって進めていきたい。

●令和5年度養老町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(総括)

令和4年度から国は未就学児の均等割りの半額軽減を行っているが、町独自で全額を軽減することや、年齢の拡充など検討できるのではないかと考えるが見解は。

国保運営協議会の中でも提示しながら議論していきたい。

●養老町国民健康保険条例の一部改正

反対討論

マイナ保険証の導入で命を守る社会保障制度が崩れる可能性が危惧されており、これまで各医療

機関などで管理保管されてきた電子カルテや処方箋などの医療情報を、一元管理できる全国医療情報プラットフォームの構築は、データ化された医療情報を民間企業がビジネスに利用し、新たな産業基盤に繋げていく狙いも指摘されている。

国がマイナンバーカードの作成を強制や義務でなく任意で進めているのは、何かあれば国が補償を伴う責任をとらなければならず、起こりうる全ての事案を回避するためと考えている。

そもそも任意であるマイナンバーカードに保険証を一本化することに無理がある。健康保健証を廃止する理由が見当たらない。

賛成討論

厚生労働省が推進する医療デジタルにより、令和6年12月に国民健康保険証の交付が廃止され、マイナンバーカードが被保険者証として利用されることになるが、この制

度は町独自のものではなく全国的なものである中で、この流れに沿っていかなければ、いずれ医療機関の利用に支障を来すものである。

●教育委員会教育長の任命同意

教育長が交代することに伴い、現在協議中である学校のあり方検討委員会の継続性についての見解は。

当初から学校のあり方検討委員会に出席し、議論の流れや内容などを把握しているので支障はないと考えている。



総務民生委員会へ付託された議案

●養老町国民健康保険条例の一部改正

マイナ保険証の保有割合は。

令和6年6月末現在の被保険者数5284人のうち、マイナ保険証登録者数3609人、68・3%。利用者数939人、11・73%。

現行の保険証の使用可能期間はいつまでか。

国民健康保険証と後期高齢者医療被保険証は令和7年7月31日まで。社会保険証はマイナ保険証が開始される令和6年12月2日から猶予期間1年を経た令和7年12月1日まで。

マイナ保険証を保有しない町民へ発行される資格確認書の仕様と発行方法は。

現在の保険証と同様のカード型で材質は紙であり、切り替え時は役場から郵送にて発行する。

反対討論

厚生労働省がマイナ保険証への移行に伴うバブルックコメントを実施した結果、5万3028件の意見が寄せられ、不安視する意見が多くみられたと報じられている。これまでの紙の保険証は、全ての被保険者が安心して確実に保険診療を受けられており、社会保険の根幹である国民皆保険制度がマイナ保険証の導入で崩れる可能性がある。そもそも任意であるマイナンバーカードに保険証を一本化することに無理があり、保険証を廃止する理由が見当たらない。

賛成討論

制度の変わり目で混乱はあると思うが、国がデジタル化を推進しており、医療を提供する側でも、保険証を使用する側にも

予算特別委員会へ付託された議案

●令和6年度養老町一般会計補正予算(第4号)

ふるさと応援基金積立金へ積み立てる700万円の使用用途は。

土屋禮一氏の絵画購入に充てるよう考えており、内訳としては、絵本体で約500万円、額縁などの装飾に約100万円、東京から養老までの美術専用車両による輸送に約100万円。絵画は現在首相官邸に飾られており、実質的に購入できるのは令和7年度になるので、今回いただいた700万円の寄附はいったんふるさと応援基金へ積み立てるもの。



障害児通所給付事業の増額補正について、増加している利用者の傾向などをどのように分析しているか。

増加率を元に令和6年度の見込み額を算定し不足分を補正計上したものの、3歳未満児の方の利用も増加傾向であると把握している。

公用車管理費の増額補正により整備するドライブレコーダー50台は全公用車に整備するのか。

職員の安全運転の観点から、庁舎で一括管理している車両各課で管理している車両トラックも含めた全ての公用車に設置予定。トラックは後ろが見えないことから360度対応ドライブレコーダーの設置を考えている。

企業誘致推進事業費の具体的な事業内容は。

養老S Aスマーティンターチェンジの北側付近、及び養老インターチェンジ南西付近の2か所への企業誘致に伴う基本計画の調査業務委託料として補正計上したもの。国県の補助メニューはなく一般財源で対応する。

中学校体育館の空調設備について、国の補助制度を活用し整備することを目的として実施される、断熱性能の調査が終了した後は、どのようなスケジュールで整備していくことを考えているか。

今回補正計上した断熱性の調査を実施し、既存体育館の断熱性能について詳細に把握したうえで、各体育館における効果的な施工方法を検証し、設計を経て令和7年度には工事に着

手したいと考えている。



小・中学校校舎のトイレの洋式化率は。また、今後の具体的な整備計画はあるか。

令和6年8月末現在で、町内小学校の洋式化率30・6%、中学校が53・8%。順次実施していきたいと考えているが具体的な計画はない。

令和6年度養老町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

資格確認書の印刷に関して増額補正した理由は。

資格確認書の注意事項のレイアウトに変更箇所があり、その対応のため補正計上したものの。